ver.2010/10/01

明星印刷工業（株）データ入稿仕様書

■入稿日／平成　　年　　月　　日（　　）

当社営業担当	当社制作担当

⚠ 右ページにトラブルを未然に防ぎ、よりよい印刷物をご提供できるよう、特にトラブルの多い画像データ作成の基礎知識を記載しています。必ずご一読ください。

お客様名　ご担当者　電話番号　メールアドレス

品名　出力ファイル名（必ずご記入ください！）

仕様
サイズ：天地（　　　）mm × 左右（　　　）mm　加工：有（　　　）・無
刷　色：□プロセス4C　□3C　□2C　□1C
C版→（　　）　M版→（　　）　Y版→（　　）　K版→（　　）
□その他（　　　）
※プロセス4C以外は、各版の刷色を（　）にご記入の上、必ず色チップを出力カンプに添付してください！特色データでの入稿はできません。

出力見本
カラーカンプ（　）枚　モノクロカンプ（　）枚　既存印刷物（　）枚　特別指示：有（　ヶ所）・無

ワークフロー
□完全データ　□全て当社で制作（必要な作業 ／ デザイン・コピー・文字入力・撮影・他（　　））
□版下データ（必要な作業 ／ 製版分解・RGB→CMYK色変換・画像修正・他（　　））
※版下データとは、画像のスキャニング等、当社での製版作業が必要なデータのことです。

入稿素材・メディア
■ポジ（　）点　■反射原稿（　）点　■その他（　／　）点
■入稿メディア　□MO《128MB・230MB・640MB》‥（　点）　□その他（　／　）点
□フロッピーディスク《2HD・2DD》‥‥（　点）
□CD-R / DVD-R ………………（　点）
※左記以外のメディアはその他記入欄にご記入ください。受取り後、対応できない場合はこちらからご連絡いたします。
※大容量のデータはインターネットを利用した当社サーバーに入稿できますので、下記までご相談ください。
■データ／・使用ファイル数（　点）・収録ファイル数（　点）←弊社で制作作業をする場合は、トラブル防止のため使用ファイルがわかるようファイルネームを記入した出力見本を添付ください！

使用システム
□Mac OS ver.（　）　□ATM ver.（　）　□Windows（　）

使用アプリケーション（ソフト）
□Illustrator（ver.　）　□Indesign（ver.　）　□Photoshop（ver.　）
□QuarkXpress（ver.　）　□PDF（ver.　）

データチェック欄（データ内容をご確認の上、下記チェック欄に✓印をおつけください）

	項目	✓
重要	ウイルスチェックをしましたか？ ⚠ウイルスチェックを必ずしてください！万一弊社システムに被害が生じた場合、責任を取っていただく場合があります。	
重要	データのバックアップをとりましたか？ ⚠必ずオリジナルデータのバックアップをお取りください。当社での保存はできません。	
重要	ファイルネームに使用できない文字を使ってませんか？⚠省略文字 袋文字 半角カタカナ ¥/:.,*?~<> ｜ は文字化けしますので使用しないでください。	
重要	QuarkXpressは3.3以下、Illustrator・IndesignはCS3以下で保存していますか？	

区分	項目	✓
全般	仕上がりサイズは正しい	
全般	ファイルネームは拡張子も含めて全角15文字（半角31文字）以内におさまっている	
全般	トンボはトリムマークで正しく作成してある（線幅をつけたままトリムマークを作成しないでください）	
全般	折り・断裁トンボは正しい位置に作成してある（折り・スジ入れなどがある場合）	
全般	最終の出力見本を添付してある（データとカンプのレイアウトが違う場合はデータ通りで印刷いたします）	
全般	折り等の加工ある場合、仕上がりの仕様がわかる（表紙等の位置を明記）出力見本を添付してある	
全般	塗り足し（断ちしろ）はちょうど3mmとってある	
全般	使用しないデータは入っていない	
イラストレーター	フォントは全てアウトライン化してある（『フォントの検索』で確認ができます）	
イラストレーター	フォントの孤立点はない（『フォントの検索』で確認ができます）	
イラストレーター	線の塗り（ヘアライン）には色の設定はしていない	
イラストレーター	CMYKで作成してある（RGB・スポットカラー・レジストレーションなどは使用していない）	
イラストレーター	トンボの色はレジストレーションである（レジストレーションなら1色刷〜多色刷まで対応できます）	
イラストレーター	トンボの外などに不要なオブジェクト・孤立点はない	
イラストレーター	配置データはリンク配置してある（埋め込みも可能ですが、色調整・加工等の処理には対応出来ません）	
イラストレーター	アウトプットが全て800になっている（ver.9以前）	
イラストレーター	マスクケイに直接色はついていない	
イラストレーター	保存形式はIllustrator EPSになっている	
イラストレーター	色に4色ベタの設定はしていない（合計300%以上は避けてください）	
フォトショップ	解像度は350pixels/inchになっている（モノクロ2階調は1200前後）	
フォトショップ	カラー画像はCMYK/8bitになっている（RGB・Labなど使用していない）	
フォトショップ	白黒画像はグレースケール・モノクロ2階調になっている	
フォトショップ	ゴミ・バグ（ノイズ）・モアレ・ニュートンリングなどがない（画像を100%表示で確認）	
フォトショップ	背景が白場の場合、CMYK全て0%になっている	
フォトショップ	レイヤーは統合してある	
フォトショップ	プロファイルの埋込みはしていない、EPS保存時のオプションは全て外してある	
フォトショップ	保存形式は Photoshop EPS 、エンコーディングは JPEG最高画質 になっている	
フォトショップ	プレビューは Macintosh 8bit になっている（WindowsはTIFF 8bit）	
フォトショップ	画像データをイラストレーターへの配置後に名前・サイズ・解像度を変更していない	
インデザイン	画像は全て埋め込んでいる（念のため使用画像もフォルダに入れてください）	
インデザイン	フォントワークスのオープンタイプ以外のフォントは全てアウトライン化してある （フォントの有無についてご不明な点はお問い合わせ下さい）	
その他	出力見本と印刷物では発色の違いがあり、データ通り印刷することを了承する	
その他	それぞれのデータにプロファイルの埋込があった場合は破棄して進めることを了承する	
その他	RGBで入稿の際はCMYK変換時、くすんでしまうことを了承する	
その他	フォトショップで作った文字はピンボケになることを了承する	
その他	スミ100%の色指定部分はすべて『のせ（下の色の影響を受けます）』で印刷することを了承する	
	PDF入稿はお問い合わせ下さい	

お問い合わせ先
明星印刷工業（株）伊予工場（担当／川端）
Tel.089-982-1400 Fax.089-946-7003
E-mail：kawabata05@basil.ocn.ne.jp
〒799-3111 伊予市下吾川1874-5

備考

（キリトリ線）※右ページはご参考に保存ください

よりよい印刷物をお届けするために　必ずお読みください!!

データ入稿において、もっともトラブルが多いのが画像関係です。特にデジタルカメラの普及によりお客様ご自身で撮影された写真データが多く入稿されますが、印刷に耐えうる画質のものは少ないのが現状です。写真は取り直しがきかない場合が多く、低画質のものを高画質に変えることは不可能です。ぜひ下記の条件をお読みの上、ご入稿ください。

画像データ作成基礎知識

■印刷における「カラー」とはCMYKをさします

カラーデータには主に「RGB」と「CMYK」があります（市販の素材CDはほとんどがRGB）。RGBで入稿されたデータは、印刷インクの色であるCMYKに変換して印刷します。

この時、RGBのほうがCMYKよりも色域が広いため、再現できない色ができてしまいます。特に鮮やかな色、パステルカラーはRGBに比べ、CMYKではかなり濁ってしまいます。これをRGBとまったく同じにすることは不可能です。ペイント系ソフトのRGBモードで描かれたイラスト等は、著しく色が変わってしまうことになり、4色印刷を前提に描かれる場合は、CMYKモードで作業してください。もし、RGBモードでしか作業できない場合は、かなりの色の変化をご承知おきください。

当社では上記条件をご承知いただいた上で、RGB→CMYK変換をお受けいたします。できるだけご希望の色に近づけますので、指示をご記入いただいた色見本を添付ください。

尚、ご自身で色変換をして画像加工をされる場合、RGB→CMYK変換プロファイルは「Japan Color 2001 coated」をおすすめします。

■プリンタ出力は色校正紙（印刷見本）になりません

特に一般用のインクジェットプリンターのインクは、蛍光色を含んでいますのでとても鮮やかに印刷されます。それを実際の印刷の色校正紙にしても同じようには印刷できません。RGB→CMYK変換と同様、あくまでも出力見本として添付し、色の調整の指示をご記入ください。

■モニターを信用しない

当社では簡易校正紙と同じ色で見られる特殊なモニターを使っています。

しかし、一般的なモニターはメーカーごと、設定ごとに明るさ、色合いが違いますので色の判断はお避け下さい。

■2色および3色印刷は、CMYKいずれか2版および3版を使用

2色および3色はCMYKのいずれか2版および3版を使っています。使用しない版には網点（色や画像）は付けないでください。「Wトーン」は対応しておりません。例えば、オレンジと緑のWトーンでしたらオレンジをM版、緑をC版（実際の印刷に近い色目の版がイメージしやすい）にして下さい。それに合わせてイラストレータ等の作業をしてください。その際は何版を何色インクで刷るのか左の記入欄にご記入ください。

■1色はグレースケール

意図的に4色を使ってグレーを表現したい場合以外は、必ず「グレースケール」にしてください。

■解像度について

- ●カラー・グレースケールの場合 ……　350dpi
- ●モノクロ2階調（線画等）の場合 ……1200dpi

上記解像度（dpi）が標準となります。
※dpiはppi（pixel/inch）と同じと考えてください。

dpi（ディーピーアイ）（dot per inch）とは、画像解像度を示す単位で1インチあたりいくつの点（ドット）が並ぶかを表しています。数値が大きいほど高画質になります。

⚠ 注意：ホームページに使用されている画像は、ほとんどの場合操作性を優先しているため、かなり軽い（低画質）データです。モニター上ではきれいに見えていても、印刷に使用できるほどの画質はありません。

■デジタルカメラ撮影は最高画質の設定で

撮影時、設定出来るピクセル数を落とせば画素数は下がってしまいます。例えば400万画素のデジタルカメラでピクセル数を640×480にすると30万画素のデジタルカメラで撮影するのと同じ事になってしまいます。このピクセル数を掛算した数値が画素数になります。2272×1704で撮影すると400万画素になります。

また、圧縮率を上げると保存時に画質が劣化してしまいます。なるべく高画素・低圧縮で撮影してください。（低圧縮をスーパーファイン、高圧縮をノーマルと表記している場合もあります。）

■デジタルカメラの画像そのままのサイズでは、きれいに印刷できません

デジタルカメラの画像を印刷に適した画質にするには、フォトショップ（画像を扱うソフト）の"イメージメニュー"→"画像解像度"で［再サンプル］のチェックを外した状態で"350pixel/inch"と設定してください（前述の"■解像度について"のところで述べた標準解像度"350dpi"にする作業です）。すると表示されるサイズが小さくなります。これが、印刷に適した画質にした時のサイズです。

［再サンプル］のチェックを入れた状態で350pixel/inchにすると、サイズは小さくなりませんが、画質は劣化しますのでご注意ください。

このようにしてフォトショップで印刷に適したサイズを知ることができますが、以下の公式で計算することもできます。

印刷適性サイズを知る方法

公式　$\text{印刷に適したサイズ(cm)} = \dfrac{\text{カメラ設定時のピクセル数(一辺)}}{350} \times 2.54$

例　●デジタルカメラの設定ピクセル数が タテ1704 × ヨコ 2272の場合

ヨコ　$\dfrac{2272}{350} \times 2.54 = 16.48$　タテ　$\dfrac{1704}{350} \times 2.54 = 12.36$

印刷に適したサイズはヨコ16.48cm × タテ12.36cmになります。

※デジタルカメラの設定ピクセル数についてはデジタルカメラの取扱説明書を参照して下さい。

■画像の保存は—

- •フォーマット ……… EPS
- •プレビュー ………… Macintosh（8bit/pixel）
- •エンコーディング … JPEG-最高画質（低圧縮率）

基本的にEPSフォーマットでお願いします。Macでは拡張子が違っていても問題ないようになっていますが、トラブル回避のため、EPSフォーマットなのに拡張子は.PSDという表記違いは避けて下さい。レイヤー状態で作業後、画像を統合し、EPSフォーマットで保存した際に拡張子を変更してない場合があります。尚、Macで保存する場合は拡張子は無くてもかまいません。

容量を軽くするためにJPEG最高画質圧縮で保存してください。

また、EPS保存時のオプションは全てOFFにしてください。プロファイルも付けないでください。

レイヤーを使用した合成画像を作成した場合、こちらで色修正やスキャンした画像と差し替えることがある場合は合成作業段階（レイヤー状態）のPSDファイルも付けてください。

また、アタリ（仮）画像と本画像が違う場合は必ずご指示ください。

アナログ原稿について

■透過原稿（フィルム）

ポジ・ネガのみ、35mm〜8×10まで対応。、APSはプリントしてください。35mmのロール（つながっている状態・スリーブ入）は可能な限り切り離して必要な原稿のみご用意ください。

■反射原稿（プリント・印刷物等）

最大A3まで対応（420×297mm）。それ以上は分割してスキャンし、合成するので複雑な絵柄ではつなぎ目が目立つ事があります。

プリントで絹目加工のものは模様が影になって見えることがあります。

印刷物は網点（あみてん）という細かな点で構成されています。そのため150%以上の倍率、または網点の大きい（例：新聞）ものはその網点が目立つ場合があります。

印刷物の金、銀、銅は光を反射して黒くなります。同系色で置き換える事が出来る場合があります。

インクジェットプリントは蛍光インクが使われている場合が多いので沈んだ色に仕上がります。

本も可能ですが、分厚く広げて伏せた時に浮いてしまう部分は適正にスキャン出来ませんので切り離したものをご用意下さい。

立体物は対応しておりません。撮影（複写）してください。

■拡大率について

フィルムは2000%、反射は500%までです。プリントは150%、印刷物・インクジェットは100%までが高画質を維持出来ます。

最大入力仕上がりサイズは600×400mmまでです。それ以上はフォトショップでの拡大になります。

■線画について

印刷物等で色が隣接しているものは、自動（トレースソフト）での線画及びアウトライン化はできません。描き起こす（トレース）ことが可能な場合があります。ご相談ください（別途費用が発生する場合があります）。

■モアレについて

印刷線数が粗かったり、倍率が小さいとモアレが出ます。チェック柄や間隔の狭い線状によく出ます。

モアレを目立たなくさせるためにぼかします。消せないものもあります。印刷物ですでにモアレがでてしまっているものはモアレではなく、ひとつの模様なので消せません。

■修正について

電線、日付、ゴミ・汚れ、印刷物の写真にかかっている文字などは消すことが出来ます。ご相談ください（別途費用が発生する場合があります）。消したい部分が本来どういう状態なのかを想像して、その原稿または別原稿から似たような部分を移植します。そのため本来の状態が不明瞭なものは消去出来ない場合があります。

例えば、顔で目を閉じた状態を開けることは不可能です。その人の目がどういう特徴なのか全く想像出来ないからです。全く同じポーズで目を開けている写真が別に存在しているのでしたら可能な場合があります。

合成、色変換も可能ですので事前にご相談下さい。

■原稿の取り扱いについて

フィルム・プリント原稿には指紋を付けないで下さい。指紋が付いて時間が経つと落ちず、画像としてスキャニングせざるをえません。フセンの糊残りも同様ですので、画像面に貼らないでください。

プリント原稿をクリップ等で直接留めないで下さい。画像の影やひずみとなり画質低下の原因となります。プリントの裏にペンで書き込み、乾かないうちに重ねるのもおやめください。これも表面の汚れにつながり、消すことはできません。

印刷物原稿に直接丸印などのトリミング指定を書きこまないでください。かすれ、にじみ等の汚れにつながります。また、黒以外の用紙を台紙として使用しないでください。特に方眼紙は透けて裏写りしてしまいます。